

オフィス選びのポイントは「交通アクセス・セキュリティ・清潔感」

成長企業のトップが語る 「私がオフィスにこだわる理由」

サインポストは金融・公共のシステムコンサルティングを行う成長ベンチャーだ。その専門ノウハウと豊富な実績は、様々な金融機関や公共機関からの評価も高い。2009年9月、同社はオフィスを拡大移転。数ある物件の中から、PMO日本橋本町を選択した。なぜ同社はPMOを選んだのか？今回は代表の蒲原氏に話を聞いた。



システムコンサルティングのプロ集団

サインポスト

代表取締役社長 蒲原 寧 かんばら やすし

1965年、大阪府生まれ。1988年、株式会社三和銀行(現:株式会社三菱東京UFJ銀行)に入行。1989年にシステム部に異動し、勘定系システムを担当。その後、邦銀の先駆けとなる次期幹事システムを構築・設計。HUB&Spokes(連携基盤)、コンポーネント化、データウェアハウス等のプロジェクトを推進。2002年にUFJ銀行とのシステム統合、2006年に三菱東京UFJ銀行のシステム統合プロジェクトを推進。その他にも、特許取得、財団法人日本規格協会の委員委嘱、数々の講演等、IT業界で意欲的に活動。2007年3月、「社会に新たな価値を創出する」ことを目的にサインポスト株式会社を設立し、代表取締役社長に就任。



設立3年目、社員数約40名の成長ベンチャー

——まず御社の事業内容を教えてください。

蒲原:当社はクライアントのIT部門の1員となり、課題解決の提案・実行を行っています。中心となるのは、金融機関および公共機関向けのシステムコンサルティング。具体的には、システム投資戦略の立案、システムの企画・設計・開発、プロジェクトマネジメント、金融ゲートウェイなどパッケージシステムの提供などを行っています。当社は2007年の設立から、大小様々な30件程度のプロジェクトを支援してきました。クライアントはメガバンク、外資系銀行、地方銀行などの金融機関。および、国、地方自治体、独立行政法人などの公共機関です。

——設立3年目のベンチャー企業でありながら、多くのクライアントから支持されている理由は何ですか？

蒲原:金融および公共のシステムコンサルティングやプロジェクトマネジメントにおいて、実績と専門ノウハウを持っているからです。当社の社員数は約40名ですが、その多くが金融機関および公共機関のシステムやIT活用方法に精通しています。そして、当社は社員の力と会社のノウハウを融合し、クライアントの課題解決に向けた具体的な提案をしています。その提案力と実行力が評価されているのだと思います。

——御社は2007年の設立以来、2度もオフィスを拡大移転しているそうですね。蒲原社長のオフィスに対する考え方を聞かせてください。

蒲原:まず、クライアントに関わる要素を第一に考えています。具体的には、クライアントとの物理的な距離が近く、交通アクセスが良いこと。

当社のクライアントの多くは、都心のターミナル駅近辺にオフィスを構えています。しかし、そのエリアは家賃相場がかなり高い。一方当社は、家賃相場や交通利便性のバランスがとれた日本橋本町にオフィスを構えています。余談ですが、このエリアにはリーズナブルな飲食店が多いのも魅力です。

そして、第二に社員に関わる要素を考えています。当然、オフィスは社員が快適に働ける場所であってはいけません。それは、居住性に優れ、明るく、安全なオフィスです。また、当社は毎日オフィスを自分たちで掃除しています。ビルの清掃サービスはあえてお断りしているんです。その目的は社員教育のため。自分の家だとゴミを拾うのに、会社のオフィスだと拾わない人がいるでしょう？つまり、自分の職場への愛着がないんですね。このことは、仕事に対するスタンスや成果とも相関関係があると思います。

オフィスのグレードが会社の信用力につながる

——御社は2009年9月、日本橋本町のPMOにオフィスを移転しました。なぜ数あるオフィスビルの中からPMOを選んだのですか？

蒲原:理由は4つあります。1つ目はワンフロア・ワンテナント設計。当社は社員数の増加に伴い、拡大移転の必要に迫られました。しかし、社員の一体感は維持したい。だから当社専有のフロアで、かつ全社員が同じフロアで働けることが条件でした。このPMOは約90坪のミドルサイズ。長方形のスペースを

ムダなく活用することができます。

2つ目は、セキュリティ。当社の主なクライアントは金融機関および公共機関。当社はプライバシーマークを取得しており、オフィスにも高いセキュリティを求めています。このPMOには、1階のエントランスにセキュリティゲート、各フロアの入り口にICカードリーダーが設置されています。これらのシステムにより、オフィスの物理的なセキュリティを強化できます。

3つ目は、グレード。クライアントからの信用を得るためにも、適度なグレードのビルへの入居を考えました。PMOはシンプルで上品さがあります。たとえば、エントランスは質素で落ち着いた雰囲気。外観もブラックを基調としたシンプルなデザインです。つまり清潔感があり、華美ではなく落ち着いたオフィス設計になっている。クライアントが来訪された際にも、ご安心いただけると思います。

4つ目は、明るさ。オフィスの明るさは、社内の雰囲気にも影響します。暗いオフィスにしていると、気持ちまで暗くなってしまいます。その点、PMO日本橋本町は二方の壁が全面の窓になっており、採光性が非常に高いんです。

交通アクセスが充実し、社員の評判も上々

——このPMO日本橋本町にオフィスを移転してから約1ヶ月、社内の反応はいかがですか？

蒲原:社員の反応は良いですね。清潔で明るい上にオフィスの天井が高く、快適だと評判です。またJR神田駅が近くになり、多くの社員が喜んでます。以前のオフィスよりもアクセスが良くなったんです。山手

線、総武線、横須賀線、日比谷線、銀座線、半蔵門線、都営新宿線など、様々な路線の駅が徒歩10分圏内にある。東京駅から徒歩15分ほど。私は大阪の関西支社に新幹線で毎週行くので、大変便利です。次の拡張移転は2年後を目標にしています。予定では社員数が80名を超えてからですね。そしてクライアントと共に成長し、社会から信頼される企業になりたいと思います。

取材文/高橋雄輔 撮影/小島アツシ

サインポスト株式会社

所在地/本社—東京都中央区日本橋本町4-12-20 PMO日本橋本町6F
関西支社—大阪市中央区内本町二丁目4番16号 オフィスポート内本町11F

設立/2007年3月1日
資本金/7,100万円
売上高/約5億4,000万円(2009年2月期)
社員数/約40名

事業内容/システムコンサルティング、プロジェクト支援、システムソリューション提供

各種認定等/
●JIPDEC プライバシーマーク制度 認定企業
第11820624(01)号 JISQ15001:2006準拠
●経済産業省 システムインテグレーション登録制度 登録企業
登録番号:(関)20110055
●特定労働者派遣事業 届出受理番号:特13-311587
URL/http://www.signpost1.com

